
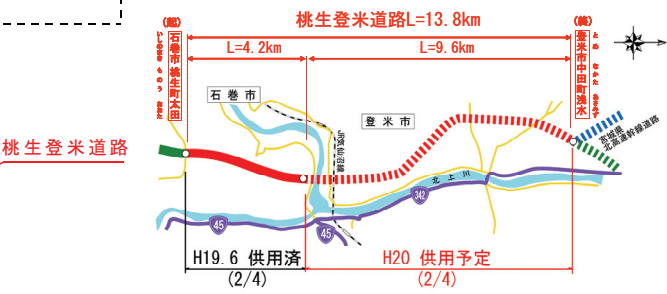


再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：下保 修

事業名 ：三陸縦貫自動車道 一般国道45号 桃生登米道路	事業区分 ：一般国道	事業主体 ：国土交通省 東北地方整備局
起終点 ：自：宮城県石巻市桃生町太田 至：宮城県登米市中田町浅水	延長 ：13.8km	
事業概要 三陸縦貫自動車道は、宮城県仙台市を起点とし、三陸沿岸を経て岩手県宮古市に至る延長約220kmの高規格幹線道路である。 桃生登米道路は、三陸縦貫自動車道の一部を形成し、宮城県北部沿岸地域の交流・連携の促進、緊急輸送道路の信頼性の向上等を目的としている。		
H5年度事業化：— 都市計画決定 H12年度用地着手 H14年度工事着手		
全体事業費：570億円 事業進捗率：67% 供用済延長：4.2km		
計画交通量：20,200台/日		
費用対効果分析結果	B/C ： (事業全体) 2.0 (残事業) 3.5	総費用 ：(残事業)/(事業全体) 225/653億円 (事業費：161/590億円 維持管理費：63/63億円)
総便益 ：(残事業)/(事業全体) 790/1,320億円 (走行時間短縮便益：637/1118億円 走行経費減少便益：96/129億円 交通事故減少便益：57/73億円)		基準年 ：平成19年
感度分析の結果 ：事業全体・残事業について感度分析を実施 【事業全体】交通量変動：B/C=2.2(交通量+10%) B/C=1.8(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.9(事業費+10%) B/C=2.2(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.7(事業期間+20%) B/C=2.3(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・国土、地域ネットワークの構築（日常活動圏の中心都市である石巻市へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（緊急輸送道路の信頼性の向上が見込まれる） 他12項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 桃生登米道路は、宮城県北部沿岸地域の交流・連携を促進するとともに、緊急輸送道路の信頼性の向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、宮城県知事による早期整備の要望や石巻市をはじめとする関係2市1町の首長で構成される三陸縦貫自動車道・アクセス道路建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化および関連プロジェクト等の変更はない。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 【執行済み額】事業費：380億円（進捗率67%） うち用地費：59億円（進捗率100%）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 桃生豊里I.C～桃生津山I.C間については、平成19年6月9日に暫定供用を開始した。桃生津山I.C～(仮)登米I.C間については、法面崩落対策により時間を要していたが、現在は事業進捗に関わる問題は解決しており、平成20年度の暫定2車線供用を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 登米I.C(仮称)のI.C構造の見直しによるコスト縮減を図る。		
対応方針 ：事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。